

昨年もお話しましたが、今から 27 年前の 1995 年、1 月 17 日に阪神淡路大震災がありました。今年はちょうど今日が、1 月 17 日ですね。阪神淡路大震災はとても朝早い時間におこり、6 千人以上という多くの方が命を失いました。多くの方が寝ている時間だったので、急には逃げられなかったことも原因の一つでした。先生は地震があった時、神戸の大学に通っていたので、たくさんの友だちや知り合いが地震の被害にあいました。頭の上に重たいテレビが落ちてきて、命を落とした人もいました。先生の下宿は 1 階がぺちゃんこになり、2 階が 1 階のようになりました。建物の下敷きになり亡くなった人、地震のあとの火事にまきこまれ、逃げられなかった人もいました。

地震はいつ起こるかわかりません。寝ている間に起こることもあれば、学校にいる時に起こることもあります。みなさんも自分が寝る場所の近く、特に頭の上に倒れてきたり、落ちてきたりするものがないかをこの機会におうちでも話し合っ欲しいと思います。大阪に住んでいるものの一人として、やはり 1 月 17 日はこれからも忘れずに語り継いでいかなければならない日の一つです。テレビなどで特集があると思いますので、どのようなことがあったかをみなさんも知るようにしてくださいね。

また、阪神淡路大震災の被災地では、ボランティアが炊き出しや支援物資の分配を担い、1年間で130万人以上が活動しました。その後も仮設住宅や復興住宅での見守りなど、約5年で200万人以上が活動しました。この地震以降、災害のあった地域には、災害ボランティアセンターをつくって、支援が必要な場所に希望者を派遣する仕組みができました。まだ地域での格差はありますが、ボランティアをして欲しい地域の要望がしっかりとまとまり、ボランティアをしやすい環境になってきました。困っている人から「ありがとう」と言ってもらえる体験はきっとみなさんの成長につながります。みなさんも大きくなったら、ぜひボランティアに参加してみてください。

次に大切な連絡があります。阪神淡路大震災が起こったこの時期だからこそ、みなさんに地震のことについて考えて欲しいと思います。今週の月曜日から金曜日のどこかで避難訓練をします。今回は、いつ起こるかがわからない地震の訓練で、授業中かもしれないし、休み時間かもしれません。いつかわからない訓練だからより実際に近いと思います。訓練は本番だと思って真剣に取り組まない意味がないので、ぜひ良い訓練にできるよう、みなさん協力してくださいね。